

# 敦賀市議会

# 議会だより

9月  
定例会

## CONTENTS

審議結果一覧	2
賛否が分かれた議案一覧、 意見書の提出	3
常任委員会審査報告	4-7
行政視察報告	8
特別委員会中間報告	9
一般質問	10-15
議会日誌、12月定例会の日程	16



▲大型クルーズ客船ダイヤモンド・プリンセス寄港

音訳（CDに録音）された議会だよりもありますので、ご希望の方は社会福祉協議会（電話 0770-22-3133）までご連絡ください。

審議結果一覧

9月8日から10月9日まで開催された令和7年第3回定例会では、議案21件、報告議案7件、議員提出議案(B議案)1件、請願1件、陳情1件を審議しました。

議案番号	件名	付託委員会	審議結果
第76号議案	令和7年度敦賀市一般会計補正予算(第4号)	予算決算	10/9 可決
第77号議案	令和7年度敦賀市国民健康保険(事業勘定の部)特別会計補正予算(第1号)	予算決算	10/9 可決
第78号議案	令和7年度敦賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	予算決算	10/9 可決
第79号議案	令和7年度市立敦賀病院事業会計補正予算(第1号)	予算決算	10/9 可決
第80号議案	敦賀市議会議員及び敦賀市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正の件	総務民生	10/9 可決
第81号議案	市長等の給料その他の給与に関する条例の一部改正の件	総務民生	10/9 可決
第82号議案	敦賀市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正の件	産経建設	10/9 可決
第83号議案	公立大学法人敦賀市立看護大学の第3期中期目標を定める件	総務民生	10/9 可決
第84号議案	指定管理者の指定の件	産経建設	10/9 可決
第85号議案	指定管理者の指定の件	産経建設	10/9 可決
第86号議案	建物取得の件	総務民生	10/9 可決
第87号議案	粟野地区認定こども園用地取得の件	文教厚生	10/9 可決
第88号議案	敦賀市立やまびこ園増築等建築工事請負契約変更の件	文教厚生	10/9 可決
第89号議案	教職員用端末購入の件	文教厚生	10/9 可決
第90号議案	令和6年度敦賀市歳入歳出決算認定の件	予算決算	10/9 認定
第91号議案	令和6年度市立敦賀病院事業決算認定の件	予算決算	10/9 認定
第92号議案	令和6年度敦賀市水道事業利益剰余金処分の件	産経建設	10/9 可決
第93号議案	令和6年度敦賀市水道事業決算認定の件	予算決算	10/9 認定
第94号議案	令和6年度敦賀市下水道事業利益剰余金処分の件	産経建設	10/9 可決
第95号議案	令和6年度敦賀市下水道事業決算認定の件	予算決算	10/9 認定
第96号議案	令和7年度敦賀市一般会計補正予算(第5号)	予算決算	10/9 可決
報告第14号	専決処分事項の報告の件(令和7年度敦賀市一般会計補正予算(第3号))	-	9/8 承認
報告第15号	専決処分事項の報告の件(損害賠償の額の決定及び和解)	-	9/8 報告のみ
報告第16号	専決処分事項の報告の件(損害賠償の額の決定及び和解)	-	9/8 報告のみ
報告第17号	専決処分事項の報告の件(損害賠償の額の決定及び和解)	-	9/8 報告のみ
報告第18号	健全化判断比率の報告の件	-	9/8 報告のみ
報告第19号	資金不足比率の報告の件	-	9/8 報告のみ
報告第20号	公立大学法人敦賀市立看護大学の令和6年度業務実績に関する評価結果の報告の件	-	9/8 報告のみ
B議案第6号	「北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書」提出の件	-	10/9 可決
請願第3号	被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願	総務民生	10/9 不採択
陳情第3号	排泄に課題を抱える障害者の日常生活用具へ排泄予測支援機器の追加認定を求める陳情	文教厚生	10/9 不採択

# 賛否が分かれた議案一覧

賛成・反対の双方があった議案等については以下のとおりです。(賛成：○、反対：×、棄権又は欠席：欠)

議案番号	市議会						あたらしい敦賀						市民クラブ			日本共産党 敦賀市会 議員団		公明党						
	河瀬 太治	高城 庄佑	縄手 博和	川端 耕一	浅野 好一	大石 修平	中野 史生	田中 和義	馬淵 清和	有馬 茂人	三田 村りょう	橋本 彬穂	籠太 一朗	吉田 隆昭	北條 正	山本 武志	豊田 耕一	今川 ひろし	松宮 学	山本 貴美子	中道 恭子	大塚 佳弘		
第76号議案	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第77号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第78号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第82号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第85号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第86号議案	○	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第87号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第90号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第93号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第95号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
請願第3号	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
陳情第3号	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	欠	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×		
B議案第6号	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	

※議長は採決に加わっていません。

## 意見書の提出

議員提出議案として提出された意見書案が賛成多数で可決され、国会及び関係省庁に意見書を提出しました。

### ◎北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書(要望事項のみ抜粋)

- 沿線自治体や地域住民等に丁寧な説明を行い、理解促進に努めるとともに、敦賀・新大阪間の環境影響評価及び北陸新幹線事業推進調査を迅速に進め、令和7年末までの駅位置・詳細ルート公表及び早期の認可・着工を実現すること。
- 貸付料の算定期間延長や国土強靱(きょうじん)化に資する部分を全額費で負担するなど、財源の議論を加速させ、着工5条件の早期解決を図り、一日も早い全線開業を実現すること。

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

● 予算決算  
● 常任委員会

〔第76号議案〕

令和7年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）

質疑

◎女子レスリング日本代表合宿開催事業費補助金

問 合宿が決まった経緯と、今後恒例化する予定があるかについて伺う。また、同様の事例があった場合、ほかのスポーツでも支援を行う予定か。

答 県内市町が加盟し、福井県が事務局を務める福井県スポーツまちづくり推進機構と福井県レスリング協会が、日本レスリング協会と協議を行い、敦賀市での合宿が決定した。来年以降の実施については未定である。  
また、同様の事例に対する支援については、その目的や効果等を勘案して、その都度検討していきたい。

問 合宿の内容および、全体の事業費の費用負担内訳について伺う。またこれまで今回のようなケースで費用を助成した実績があるのか。

答 合宿は、敦賀市総合運動公園体育

館において、令和8年2月26日から3月2日までの5日間行われ、オリンピック選手を含む選手及びコーチ等35名が参加予定である。全体の事業費は537万8千円であり、実施主体である福井県レスリング協会に対し、福井県と敦賀市が2分の1ずつの補助を行う予定である。

今回の合宿誘致は、初めてのケースであるため、特に補助等の要綱はなく、県と市で協議して決定した。

自由討議

日本代表が敦賀で合宿を行うということで話題性もあり、レスリング人口の拡大にもつながるとのことだが、他のスポーツにおいても同様の事象が起こり得るため、議会としてもしっかり判断する必要があると思う。

採決

賛成多数

原案とおり認めるべきものと決定

〔第90号議案〕

令和6年度敦賀市歳入歳出決算認定の件

質疑

◎法人市民税

問 今年度は増収に転じ、前年度比

112%となった理由として、決算資料では一般土木建築業などの増収とされているが、数字で示していただきたい。

答 令和5年度と比較して、令和6年度決算額が増加した法人、上位20社で分析しており、上位20社のうち最も税額が増加した業種が一般土木建築業で、約3400万円の増加である。また、法人税割が大きく増加した業種として、各種製造業が約1700万円の増加。また、令和6年度に新たに法人税割が生じた業種として、電気業があり、約1000万円の増加。その他各種サービス業や各種小売業、金融業などで約5100万円の増加となっている。

◎学校給食材料費

問 令和5年度と比較して、物価高騰による食料費の上昇金額と上昇率、及び、物価上昇への対策として行ったことについて伺う。

答 令和6年度の公費で負担した物価上昇分の金額は3700万172円、公費負担率は19・6%であり、令和5年度の公費負担率15・2%と比較すると、物価上昇分の割合が4・4ポイント増加したと考える。

また、物価上昇への対策として、給食の質と量に影響を与えない範囲において、少しでも安価な食材への置き換えや、新たに開発された加工品の採用など、支出の削減に努めている。

採決

賛成多数

原案とおり認定すべきものと決定

〔第96号議案〕

令和7年度敦賀市一般会計補正予算（第5号）

質疑

◎職員の死亡事案関係経費

問 賠償に関する現在の段階について伺う。また、訴額及び委託先の弁護士について伺う。

答 経緯としては、8月27日付の文書を28日付で受領し、その後、取り扱いについて内部協議を行い、見積り額の確認を経て、今回予算案を提出した。相手方の訴え額については、この案件が現在、訴訟等にもなっていないため、プライバシーに配慮し公開を控えたいと考えるが、今回の予算額は、請求額を、旧日本弁護士連合会報酬等基準に照らして算出しており、その割合により計算した額である。

委託先については、現在、市の法律相談業務を受託いただいている弁護士に委託する予定である。

**問** 相手方の意向に沿って速やかにとの説明があったが、裁判で争うことがないということもあり得るのか。

**答** まずは話し合いをさせていただき、示談という方向で考えているが、そこで折り合いがつかなければ訴訟という形になってくると思う。

### 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

## 総務民生 常任委員会

〔第81号議案〕

市長等の給料その他の給与に関する条例の一部改正の件

### 質疑

**問** 両副市長の減給割合に濃淡を設けているが、その理由について伺う。

**答** 人事の管理監督責任は、市長のほか両副市長にも及ぶものであることから、対象とした。加えて、今回の事案

が市民生活部で起こったものであるという点、第三者調査委員会の報告書において言及されている点などを踏まえ、両副市長の減給割合を定めた。

**問** 処分内容を検討する段階で、減給以外の措置は検討されなかったのか。

**答** 特別職においては、地方公務員法の適用対象外であるため、懲戒免職や停職等の処分は制度上適用されない。一方で、副市長については、地方自治法施行規程において、けん責、500円以下の過怠金、免職といった処分が規定されているが、今回の事案に照らして検討した結果、これらの処分はいずれも適用が困難であると判断し、今回の提案内容に至った。

### 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

## 公立大学法人敦賀市立看護大学の 第3期中期目標を定める件

〔第83号議案〕

公立大学法人敦賀市立看護大学の第3期中期目標を定める件

### 質疑

**問** 看護師、助産師、保健師それぞれの合格率について、全国平均と敦賀市立看護大学の実績を伺う。

**答** 新卒者合格の全国平均で、看護師95・9%、保健師97・7%、助産師99・3%となっており、敦賀市立看護大学においては、看護師100%、保健師92・9%、助産師100%の合格実績がある。

**問** 地域医療への貢献を目指す学生を確保するための入試制度の整備とあるが、今後どのようなことを考えていくのか伺う。

**答** 大学卒業後に、敦賀市内で働いていただける方を確保していくため、地元への定着率の高い市内出身の学生を増やす取り組みを考えている。具体的な施策については、大学側において、地元出身者が入学しやすい制度として、推薦枠の拡大、地域枠の設定等に取り組んでいただくことを想定しており、最も効率的な方法を採用いただきたい。

### 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

## 「請願第3号」 被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願

**意見** 日本は、唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約に対して真剣に向き合うべき立場にあることは理解する。しかしながら、日本が、本条約に調印・批准をすることで、核保有国と非核保有国との対立を招くのではないかと懸念する。

**意見** 現在の核兵器禁止条約の枠組みが、核なき世界を直ちに実現できるかどうかについては、判断が難しい面がある。しかしながら、日本政府が、核兵器廃絶に向けたより実効性のある条約の在り方を模索するなど努力をすべきと考えることから、本請願については、趣旨採択とすべきである。

**反対** 現在、日本の平和と安全は、日米間の安全保障関係によって維持されている。核兵器禁止条約への調印・批准を行うことにより、核の傘による抑止力などが失われる可能性があることから、本請願には反対する。

### 趣旨採択に賛成

核の傘による抑止力

といった核兵器の存在を前提にした国際秩序が成り立っている現実については否定できないが、核なき世界を実現するためには、より実効性のある方策を模索していくことが必要であり、私たちから日本政府に対して一層の努力を求めていくことは確かな意義があるものと考えます。よって、本請願を趣旨採択することに賛成する。

**委員から趣旨採択の提案があったため、採決ではまず、趣旨採択への賛否を確認し、次に請願の採択への賛否を確認しました。**

**採決 賛成少数**

趣旨採択をしないことに決定

**採決 賛成なし**

不採択とすべきものと決定

**産経建設  
常任委員会**

〔第82号議案〕

敦賀市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正の件

**質疑**

**問** 料金の値上げによる利用者への影響はどう考えているのか。

**答** 土曜日、日曜日において、立体駐車場及び駅東口駐車場は満車となっており、一方、白銀駐車場の稼働率は低いことが今の課題である。各駐車場の稼働率を向上させ、ストレスなく駐車できる環境を整備することが必要だと考えている。周辺の民間駐車場や他自治体の価格も参考にし、全体のバランスを考慮して設定した結果、今回の提案に至った。

**問** 利用料金を上げることを利用者がうまく誘導することは可能なのか。

**答** 白銀駐車場に利用者が流れるようにチラシの配布などを行っているが、料金差が100円だけだとなかなか行動につながらない。料金差を今以上につけることで、白銀駐車場の稼働率を上げるとともに周辺の民間駐車場にも流れるようにしていきたい。

**問** プリペイドカードをなくした理由について伺う。

**答** 利用実績が月に8枚程度と少な

く、磁気カード発行のコストに見合わないため廃止することにした。

**討論**

**反対** この駐車場は多くの市民が使っている。市民の負担が大きくなるといふ点から賛成できない。

**賛成** 渋滞緩和に資するものであることが確認できたため賛成する。また、料金改定が市民の理解を得られるようしっかりと説明していただきたい。

**採決 賛成多数**

原案どおり認めるべきものと決定

〔第84号議案〕  
指定管理者の指定の件  
(※敦賀赤レンガ倉庫)

**質疑**

**問** 選定結果報告書を確認したところ、施設の管理運営費用の縮減の評価が低いように思えるが、詳細について伺う。

**答** 経費の削減に関して、ジオラマの管理や清掃委託、人件費など固定的な経費はかかってくる。あと抑えられるところは、利用者増を生む広告宣伝費

になるが、指定管理者から、新幹線開業に伴い、さらに利用者を増やすための広告宣伝などに力を入れていきたいと申し出があった。今後、ジオラマの更新等を計画に入れると、もう少し利用者が増えるの見込んでおり、ハード面だけでなく、ソフト面に力を入れると経費も膨らんでくるため、収入は増えるが支出も増えてくるというような計画を持っている。

**問** リニューアル方針についてはどのような提案があったのか。

**答** 1億円程度のリニューアル案が2案提示された。ジオラマ展示を一新して派手に見せる案と昭和レトロを存続させる案があったが、金ヶ崎周辺の整備方針と合わせて、来年度に基本計画を立てて進めていきたい。

**問** 講評の中で、周辺施設との連携強化に関する意見と、各テナントとジオラマ館の営業時間に関する意見が述べられているが、それに対する評価は。

**答** 現在も周辺施設であるムゼウムやミライエといったイベントと連携しているが、どうしても収入につながっていないところがあるため、今後も引き続き考えていきたい。また、毎月開催

しているテナント会の中で、各飲食テナントとジオラマ館の営業時間のずれについても話が出ていたので、今後解消していくと理解している。

## 討論

**賛成** 赤レンガ倉庫は、新幹線開業前の1.4倍の来館者数になっている。今後、周遊性や滞在性がポイントになってくる中、丹青社は、評価結果で高評価を得ており、実績と経験もあるため賛成したい。

## 採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第85号議案〕  
指定管理者の指定の件  
(※敦賀市宮駐車場)

## 質疑

**問** 貸付土地活用の提案について、タイムズの優位性はどこにあったと考えるか。また、駅周辺全体の混雑緩和という点から期待するところは。

**答** 貸付土地について、タイムズの提案は、一般車と大型バスが利用できるものであった。また、新たな設備投資により、利用者の地域が分析できるな

ど、さらなる詳細な分析には期待している。

**問** 選定基準の中に、市直営からのサービソ向上策とあるが、具体的な例は。

**答** 24時間利用できる駐車場において、不測の事態があったとき、コールセンターを経由していつでも対応できるという点は、市直営のときよりもサービソ向上につながるものと考えている。

## 討論

**反対** 利用料金の値上げに関係するため賛成できない。

**賛成** 指定管理者のノウハウや技術導入に期待しているという市の評価を踏まえて賛成する。

## 採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

● 文教厚生  
常任委員会 ●

〔第87号議案〕

栗野地区認定こども園用地取得の件

## 討論

**反対** 栗野地区の保育園を利用する保護者などから、統廃合により園が大規模化することへの不安の声を聞いているため、賛成できない。

## 採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔陳情第3号〕

排泄に課題を抱える障害者の日常生活用具へ排泄予測支援機器の追加認定を求める陳情

**意見** 排泄(せつ)予測支援機器の重要性は理解するが、該当機器以外にも機種が存在するため、特定の機種に限らず総合的に検討する必要があると思う。

## 討論

**反対** 日常生活用具の追加認定は、各団体からの要望を受けて、市の担当課が検討し決定するプロセスであることから、まずは市の担当課で検討すべきである。

**反対** 排泄予測支援機器が複数ある中で、該当機器のみを日常生活用具に追加することには賛成できない。

**賛成** 障害のある子どもを持つ保護者からの切実な要望であり、その実現を後押しするため、議会としても支援すべきである。

**賛成** 排泄に関する悩みを抱える障害者が一定数存在することを踏まえ、日常生活用具として認定されるべきである。

## 採決

賛成少数

不採択とすべきものと決定

**意見** 日常生活用具の追加認定は、各団体からの要望を受けて市の担当課が検討・認定していることを一般質問で確認した。よって、本件を議会で判断するのは難しいと考える。

**意見** 障害のある子どもを保護者が抱えるストレスは計り知れない。切実な要望であることから、本陳情を採択し、後押しすべきと考える。

# 行政視察報告

## 議会運営委員会（8月18日～19日）

議会運営委員会では、愛知県新城市・一宮市・岩倉市の3市を視察し、それぞれの特色ある議会運営や市民参画の取り組みを学びました。

新城市では、若者議会条例に基づき、若者が政策提案から事業化まで主体的に関与する若者議会について視察しました。年間1000万円の予算が確保され、これまでに50件以上の事業が実現するなど、若者の中から市職員や議員となった例もあり、若者の声を市政に反映する仕組みが確立されています。また、市民・議会・行政が一堂に会する市民まちづくり集会も開催しており、主権者教育の観点からも非常に意義深い取り組みを学びました。

一宮市では、議場に取付けた200インチの大型スクリーンをはじめとした議場設備について視察しました。スクリーンによって、傍聴席からも質問者や資料が見やすく、音声認識による字幕表示や電子表決システムも整備され、ICTを活用した議会運営が進められています。敦賀市においても議場のデジタル化や傍聴環境の改善が求められると感じました。

岩倉市では、委員会代表質問について視察しました。委員会活動の成果を市政に反映させる新たな手法として注目されますが、合意形成の難しさや準備負担などの課題も見受けられ、実際に敦賀市で導入を検討する際は、制度としての実効性を慎重に見極める必要があると感じました。

今回の視察では、各自治体の創意工夫に触れ、敦賀市の議会改革や市民協働のさらなる充実に向けたヒントを得ることができました。今後、開かれた議会の実現に向けて検討を重ねてまいります。



▲新城市での視察の様子

## 文教厚生常任委員会（10月14日～15日）

文教厚生常任委員会では、石川県加賀市・金沢市、富山県南砺市・砺波市の4市を視察しました。

今後も確実にされる高齢化率の上昇への対応事例として、「加賀市版地域包括ケアシステム」では、地域包括支援センターの地区単位の支所機能を地域密着型事業所に委託して16か所設置し、要介護認定件数の減少につなげた事例を確認しました。

子どもの貧困対策としての「金沢版子ども宅食推進事業」では、市内のブロックごとの拠点となる場所での食材等提供を通じ、これまで支援が届きにくかった子育て家庭を掘り起こし、必要な支援につなげる独自の取り組みを展開しています。委託先の市社協に地域の関係者やボランティア、学生などが加わり、地域で子育て家庭を支える機運が醸成されています。

南砺市では、SDGsに基づくこども・子育て支援に取り組んでおり、早くから「こどもの権利条例」制定に動き出していました。行政だけで検討せず、市民を巻き込み多くのやり取りを重ね、制定後も周知啓発や、こどもの権利保障の実現に向けた

環境づくりが進んでいます。

砺波市では、給食センターにおける地産地消の取り組みとして、関係者による連絡会を構成して供給体制を整える仕組みや、規格外の野菜の活用方法を教わりました。

地域を巻き込み地域で考えることがさまざまな課題解決のカギであることを今回の視察で改めて学びました。担い手育成やコーディネート、交流の活発化に向けて、先進事例を参考に検討してまいります。



▲南砺市での視察の様子

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

原子力発電所  
特別委員会

その他の関係

質疑

問 福井県原子力リサイクルビジネス準備株式会社の設立に関して、現在の勤務体制について伺う。

答 県から2名、日本原電から2名、関西電力から1名、原子力機構から1名が派遣されている。

問 創業までの財源や予算はどうなっているのか。

答 令和7年度に地質調査と詳細設計を行い、令和9年度の事業許可申請を目指している。事業許可が取得された後に建設が行われ、その際に200億円の融資を受ける計画である。それまでの期間は、当初出資した20億円で購入。

問 第8回福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議に関して、医療人材の拡充と施設整備の両面に対する支援措置を講じることなど

を求めたとあるが、具体的にはどういったことを考えているのか。

答 これまでは人材確保という部分しか明記されていなかったが、今回の共創会議の工程表の中で、施設整備について明記された。敦賀市内での地域医療の在り方については議論が深まっていないため、これからの検討課題になるが、市立敦賀病院の老朽化に対応するための財源としても考えていきたい。

原子力防災関係

質疑

問 福井県原子力総合防災訓練の詳細について伺う。

答 10月24日、25日に関西電力美浜発電所を対象に実施される。県内外への避難訓練を行うとともに、国、県、市町関係機関、電力事業者との連絡体制の確立や意思決定の手順の確認などを行う。

問 広域避難の対象者について伺う。

答 中郷、栗野南、黒河、愛発の各小学校区の住民を対象に計100人程度

に参加いただき、敦賀市から奈良市に避難する予定である。

新幹線開業後まちづくり  
特別委員会

敦賀まちづくりアクションプログラムについて

説明

氣比の杜（もり）整備構想

基本構想の策定に向けた検討調査業務の委託業者を選定し契約を締結したことや、先進事例調査の実施状況について報告があった。また、今後はワークショップやアンケートにより市民の意識調査を行うべく予定であるとの説明があった。

神楽通り再整備

アーケード外側の既存の歩道部分と拡幅部分を合わせて、約4メートルの歩道部分がにぎわい空間として利用できるようになること、また、工事は10月ごろから着手し、年度内の完成を予定していることについて説明があった。

旧敦賀港線廃線敷の活用

7月1日付で用地の所有権移転登記及び都市公園予定区域の指定を行ったこと、また、利活用計画策定業務の事業者を9月に選定し、今後、先進事例

調査やワークショップなどを行いながら、利活用コンセプト等を検討していく旨、報告があった。

質疑

問 氣比の杜整備構想に係る先進事例視察先として、主に図書館が挙げられているが、市民からの意見もあつた美術館や防災機能など、ほかも見るとはありますか。

答 文化文教エリアにふさわしいものとして図書館を含んだ複合施設を中心に視察を行ってきた。図書館をどうするかというのが、氣比の杜整備構想で大きなポイントだと考えている。地元からは防災機能やさまざまな地域活動という点から要望も頂いているので、どの機能を取り入れ、また省くのか、ワークショップの中で協議していくことになる。

問 図書館をどうするかというのが大きなポイントとのことだが、図書館をなくす、なくさないの判断はどこで行うのか。

答 公共施設をどうするかということについては、政策調整会議などで議論をした上で、市として判断していくことになると思う。

## 項目一覧

### ◎吉田 隆昭

- 1 避難所の準備状況について
- 2 敦賀港の貨物量最多について
- 3 樫曲の民間最終処分場について

### ◎豊田 耕一

- 1 市職員の働き方の実態について
- 2 市のハラスメント対策について

### ◎河瀬 太治

- 1 敦賀まつりについて
- 2 敦賀市のプールについて
- 3 道の駅について
- 4 ひげ線について その3

### ◎今川 ひろし

- 1 有害鳥獣対策について
- 2 金ヶ崎周辺魅力づくり事業について

### ◎橋本 彬穂

- 1 子育て世代に直結する遊び場について
- 2 マダニ感染症とペットを介した感染リスクについて
- 3 つるサイフの経済効果と利用促進について
- 4 ふるさと納税の現状と制度変更に伴う対応について

### ◎大塚 佳弘

- 1 自然災害から生命と暮らしを守る取り組みについて
- 2 共生社会からの福祉政策等の取り組みについて
- 3 「人道の港敦賀ムゼウム」から平和交流に向けての発信について

### ◎北條 正

- 1 敦賀の観光行政について
- 2 ハラスメントについて
- 3 社会教育について

### ◎三田村 りょう

- 1 オール敦賀に向けて・女性、外国人について
- 2 教育について（日本国憲法について）

### ◎縄手 博和

- 1 金ヶ崎に整備予定の公園について
- 2 敦賀市宮野球場について

### ◎籠 太一郎

- 1 今後の公営住宅の在り方について
- 2 今後の介護福祉の在り方について その9

### ◎馬 淵 清和

- 1 公民館のコミュニティセンター化について
- 2 市立敦賀病院について

### ◎中道 恭子

- 1 リチウムイオン電池の回収について
- 2 ごみ減量とプラスチック・スマートの取り組みについて
- 3 環境教育の推進について

### ◎高城 庄佑

- 1 スポーツ施設の整備について
- 2 敦賀まつりの在り方について

### ◎大石 修平

- 1 クルーズ船対応について
- 2 障がい者の日常生活用具の充実について

### ◎山本 貴美子

- 1 こども誰でも通園制度について
- 2 国民健康保険等について
- 3 市民の暮らしの支援について

### ◎山本 武志

- 1 戦争の惨禍と人道の心を伝え、つなぐことについて
- 2 公民館のコミュニティセンター化を踏まえた地域づくりについて

### ◎松宮 学

- 1 高齢者の徘徊対策について
- 2 高齢者や低所得者へのエアコン補助について
- 3 少年自然の家の今後について



吉田隆昭  
(あたらしい敦賀)

### 避難所の準備状況について

**問** 政府は昨年12月に自治体向けの避難所運営指針を改定したが、敦賀市のトイレの数や避難所の居住面積は指針に照らし合わせた場合、どうなのか。

**答** トイレの数の目標は、発災後の初期段階では50人につき1基で、大地震発生時の想定避難者数1万1500人に対し備蓄トイレの充足率は約90%。来年度には必要数を満たしたい。居住面積は想定避難者数1人当たり3・5平方メートルの確保が必要だが、確保できていない。現在、収容可能面積は公民館のホールなど広いスペースに限っている。で基準での収容は厳しいが、研修室や教室を利用できれば充足すると思われる。



豊田耕一  
(市民クラブ)

### 市職員の働き方の実態について

**問** 市職員のサービス残業の実態について伺う。また「市職員が故意に残業の記録を残さない場合は勤務実態の把握が困難」との答弁について、どのような場面を想定しているのか。

**答** 勤務時間の管理システムでは、職員のサービス残業を全て把握するのは困難であり、働き方改革に伴い残業を抑制される中、やるべき業務がある職員が、記録を残さず残業を行うことについては否定できない状況である。



河瀬太治  
(市政会)

### 敦賀まつりについて

**問** 熱中症対策としてウォーターサーバーや大阪・関西万博のように休憩所としてバスを利用できないか。

**答** 給水サーバーには水道や電気が必要で、設置場所も限られる。さらに屋外に設置できる給水サーバーがリースできるのか等問題もあり研究する。まつり期間ではさまざまな行事があり常時バスの設置はできない。今年度は休憩所としてカゲールと商工会議所を開放し、熱中症対策としてミスト車を設置した。

### 市のハラスメント対策について

**問** ハラスメント行為者が処分を受けなくても、行為者自らが悔いを悔い改め、考えを正すことは困難であると考ええる。本市はどのような対応により行為者が更正できると考えているのか。

**答** 処分のみならず、再発防止や自身の行動変容を目的とした個別指導、研修、教育プログラムを職場復帰するまでにやっていきたいと考えている。

### 道の駅について

**問** 道の駅を開設した場合、商品の確保が困難と聞いたので敦賀の地域性を活かして日本全国の特産品を販売する道の駅にすることは出来ないか。

**答** 面白い企画と考えるが、道の駅開設の動機としては一次産業の振興がある。道の駅は業態等様々なことが検討段階であり今後とも検討する。

議会だよりはスマホでもご覧いただけます

自治体広報紙を配信する無料アプリ「マチイロ」から議会だよりを閲覧できます。

#### 閲覧の流れ

マチイロをダウンロードし、住んでいる地域として「敦賀市」を登録すると、議会だより発行のお知らせがスマートフォンまたはタブレット端末に届き、アプリで読むことができます。

#### 利用上の注意

- ・マチイロは、株式会社ジチタイワークスが作成したものです。
- ・アプリ閲覧中表示される広告の内容については、市は一切責任を負いません。
- ・アプリのダウンロードや閲覧による通信料は利用者負担となります。



# マチイロ

マチを好きになるアプリ



**問** 最終処分場は最終的に閉鎖するようだが、閉鎖の費用を排出元の団体に請求する考えはないのか。

**答** 閉鎖の費用負担は、搬入団体に求めていると考えている。



今川ひろし  
(市民クラブ)

有害鳥獣対策について

問

改正鳥獣保護管理法に基づく、緊急銃猟制度の概要、敦賀市での実施に備えた事前準備等、敦賀市でのガイドライン作成等の状況を伺う。

答

改正に伴い、9月1日から市町村の判断でクマやイノシシといった危険な獣が人の生活圏に侵入し、人的被害の恐れのある場合、ハンターに銃での捕殺を委託できるようになり、ガイドライン作成等の状況については県が作成するひな形が完成次第、今年度中に作成予定。

金ヶ崎周辺魅力づくり事業について

問

敦賀市津波ハザードマップでは、敦賀港の最大津波高は230センチと想定されているが金ヶ崎エリアの避難経路想定や確保、避難対応マニュアルの内容を伺う。

答

金ヶ崎エリアの公共施設の敦賀ムゼウム、赤レンガ倉庫等の津波に対する避難経路、誘導等検討をしている。



橋本彬穂  
(あたらしい敦賀)

マダニ感染症とペットを介した感染リスクについて

問

敦賀市でのSFTS（重症熱性血小板減少症候群）の感染状況は。

答

二州地区での発生件数は平成29年に2件、令和4年に1件。

問

予防周知として、今後広報つるがや動物病院などに呼び掛けなどの対策は考えているか。

答

動物病院に対し厚生労働省作成のポスター掲示の依頼を考えている。

つる Сайフの経済効果と利用促進について

問

要望や高齢者の方への配慮を含め、紙媒体の商品券やクーポンを今後検討していただけないか。

答

現在、紙媒体は考えていないが、今年度実施しているデジタル商品券について、追加発行を検討中である。



大塚佳弘  
(公明党)

共生社会からの福祉政策等の取り組みについて

問

日常生活用具給付事業の新規要望と、認定の取り組みと課題を伺う。

答

各団体から要望があった場合、追加認定ができるかどうか担当課で検討を行う。検討は厚生労働省の告示を基本に、ほかの制度で適用されていないことを確認した上で、用具の利用により自立や生活の改善につながる点や、安全に継続して使用できるかといった点、そして実用性が高いかといった点などからの検討を行い、要件を満たす場合は追加認定をする。

また、用具を追加する上での課題は、新たな要望をどのように把握するかが挙げられる。現状では敦賀市地域自立支援協議会の開催や、障がい者団体との意見交換を定期的に行っており、その中で意見を聴取したり、各団体からの要望を踏まえたりして対応している。今後は、県にも他市町の新規認定した用具の情報集約を働きかけ、各市町との連携も強化したい。



北條 正  
(あたらしい敦賀)

社会教育について

問

少年自然の家は敦賀市出身の方であれば1回は利用し、私は何度も利用させていただいている。自然体験型の重要な施設であり、さらに、子供たちも、我々世代もコミュニケーション能力が落ちてきているといった観点で、それを克服するためこの少年自然の家をリニューアルして、新しい形でスタートできないか、市長のご見解をお伺いしたい。

答

私も少年自然の家の現地視察をした。新設には多額の費用がかかること、また、利用者としては大幅に減っているということもあり、これから増加が見込めず、いろんな活性化策というのも検討はしたが、これらの観点で費用対効果というものが見込みにくいということも思っており、令和8年度末の廃止というところで検討している。



三田村りょう  
(あたらしい敦賀)

## オール敦賀に向けて・女性、外国人について

**問** 男女共同参画について結果が伴わないのは組織図の問題であり、「国の第6次男女共同参画基本計画策定にあたっての基本的な考え方」にも示されているように、男女共同参画センターの機能強化や改善策が必要でないか。

**答** 組織図の問題があるとは考えていないが、他自治体の条例化などの研究を進める。また、国や他自治体の動向を見て組織の改編もあり得る。

**問** 単に働くことに留まらず、地域社会にも外国人が参加し、盛り上がり的一端を担ってくださっていると肯定的に捉えているが、市の認識を伺う。

**答** 国籍や文化的背景の異なる方々が社会の対等な一員として支え合いながら共に生活する社会を実現することは重要と考えている。また、苦情や相談も特段受けていない状況である。



縄手博和  
(市政会)

## 金ヶ崎に整備予定の公園について

**問** 公園を3つの区画に分けて、梅、桜、花桃の3種類を植えてはいかがか。

**答** 現在の詳細設計の中で、敦賀の土壌、気温等の環境を踏まえた植栽計画を策定中であるので、景観などにも配慮しながら検討したい。

## 敦賀市営野球場について

**問** 市営野球場を廃止して、駐車場にすることを提案するが市の見解は。

**答** 実際使っている方もいるので、今後どのような活用方法がいいかについてはいろいろ検討、検証をしていきたい。



籠太一朗  
(あたらしい敦賀)

## 今後の公営住宅の在り方について

**問** 市営住宅における指定管理者制度導入時には目的外利用を含む条例の改正も視野にいれているのか。

**答** 指定管理者に管理を委ねることになれば、必要な改正は盛り込むことになるかと考えている。

## 今後の介護福祉の在り方について その9

**問** 民生委員児童委員に係る制度の持続可能性を高めるために市は何をされるか。

**答** 委員の活動に対する負担軽減、活動についての周知と市民との共通理解が必要と考えている。日々の活動内容の見直しのほか、敦賀市独自の民生委員児童委員支援員制度などの取り組みを引き続き進めることと、委員の普段の活動内容について市民の皆様の理解が深まるように積極的に周知し、共通理解の促進を図っていく。

### 請願・陳情は

どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民の皆さんが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

いずれも提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会で内容を確認し、全会一致で認められたいものは、請願と同じ取り扱いとなります。審査することになります。それ以外は全議員に写しを配付します。

※郵送による陳情は認めておりません。

※請願、陳情の処理結果については、後日文書で提出者に通知します。

### 【書式例】

年 月 日

請願（陳情）書

敦賀市議会議長 殿

紹介議員（請願のみ）  
住所 ……………  
氏名 ……………

……………について

請願（陳情）趣旨  
……………

請願（陳情）事項  
1 ……………  
2 ……………



馬淵清和  
(市政会)

### 公民館のコミュニティセンター化について

**問** なぜ、コミュニティセンター化を目指すのか、目的や意義は。また今後のスケジュール感は。

**答** 少子・高齢化、住民関係を希薄化させないよう維持していくのが課題となる中、公民館を地域づくりや地域コミュニティの形成に資する施設として活用していきたいため所管を市長部局に移す。スケジュールとしては、教育委員会です承を得られれば、3月議会に条例案を提出。その後議会で認められれば、令和8年4月から変更予定。

### 市立敦賀病院について

**問** 第3次市立敦賀病院中期経営計画の概要は。

**答** 病院の機能の見直し、2次救急医療機関の役割、地域の医療機関との連携、医師、看護師等の確保、経営形態の見直しなどに取り組んでいく。



中道恭子  
(公明党)

### リチウムイオン電池の回収について

**問** 清掃センターでの火災の再発防止に向けて、さまざまな媒体を使って、しっかりと広報していただきたい。

**答** どのような製品にリチウムイオン電池が使われて、どのような危険性があるか、正しい分別、廃棄の方法をホームページや広報紙でPRし、動画等を活用して、分かりやすく周知啓発に取り組んでいきたい。

### ごみ減量とプラスチック・スマートの取り組みについて

**問** 清掃センターを拠点として、学用品や、子供のおもちゃ、介護用品などのリユース強化の取り組みができていないか伺う。

**答** 現在の清掃センターの体制や設備を考えると難しいが、リサイクルの推進という観点で、別の方法について、いろいろな事例は調査していきたい。



高城庄佑  
(市政会)

### スポーツ施設の整備について

**問** 野球等専用グラウンドや陸上競技場の照明の建設について伺う。

**答** 野球等専用グラウンド整備について、運動公園敷地内及びその周辺については整備が難しく、新和町1丁目市有地については今後の参考とする。また、陸上競技場のナイター設備について、当面は運動公園内の既存の照明のLED化を進めつつ、利用団体と協議の上、順次検討していきたい。

### 敦賀まつりの在り方について

**問** 雨天時に山車巡行が中止されるリスクを回避し、全市民参加型の敦賀まつりをつくりあげるため、現代版の全天候型山車を作製してはどうか。

**答** 山車が巡行できない場合の対応については、保存会と協議をしつつ、雨天時には山車会館での公開ということも含めて検討したい。また、全天候型山車の作製等については、より広い市民参加についての参考としたい。



大石修平  
(市政会)

### クルーズ船対応について

**問** 現在無料のクルーズ船乗客向けシャトルバスの運賃を徴収することで、街なか消費を喚起できないか。

**答** クルーズ船誘致に当たってシャトルバス無料化が敦賀市の強みとなっていることから有料化は考えているが、市内の消費喚起策については関係者とともにしっかりと検討してまいりたい。

### 障がい者の日常生活用具の充実について

**問** 排泄に課題を抱える障がい者向けに、排泄予測支援機器について、購入補助が受けられる日常生活用具として新たに認定するべきではないか。

**答** 本人や保護者の負担軽減につながる機器だと認識しているが、自立や生活の改善につながるか、実用性が高いかなどの確認も必要であり、今後利用例などを参考に検討したい。



山本貴美子

(日本共産党  
敦賀市会  
議員団)

### 市民の暮らしの支援について

**問** 小学、中学、高校、大学など入  
学準備は子育て家庭にとつて大き  
な負担。そのため、高浜町、おおい町で  
は入学祝い金を支給している。敦賀市  
でも入学祝い金を支給してはどうか。

**答** 敦賀市は、就学援助制度で低所  
得世帯に学用品費、給食費等を支  
援し、入学に伴う経済的負担も軽減して  
きた。大学生に対しても、ホームタウン  
奨学金という市独自の支援制度を創設し  
た。まずは、既存の制度を効果的に活用  
いただけるよう周知に努めてまいりたい。

**問** 福井市では子育て世帯や高齢者  
でも全町民に商品券を配布する。若狭町  
も、物価高騰で大変な市民の暮らしを応  
援するため、お米券や商品券の配布など  
実施してはどうか。

**答** 敦賀市は、物価高騰対策として  
給食費の高騰分の負担や介護、福  
祉施設などへ物価高騰対策支援を行う。  
お米券や商品券の配布は考えていない。



山本武志

(市民クラブ)

### 戦争の惨禍と人道の心を伝え、 つなぐことについて

**問** 大事なことは、敦賀市戦没者戦  
災死没者追悼式への幅広い市民参  
加、ムゼウムの価値や役割を市民の皆様  
と一層広く深く共有していくことを通じ  
て敦賀に根差す人道の心を育み、つなぐ  
こと。今後もそうした考えの下で市政運  
営に当たっていただくことを切に求める。

**答** こうした敦賀らしさを今後もつ  
ないでいくことによって、郷土愛  
とかふるさとへの誇りが醸成されるよう  
な市政の運営にしていきたいと考える。

**問** 人口減少時代における地域づく  
りに向け、基盤をつくっていくと  
の考えが込められているのか伺う。

**答** 公民館が地域コミュニティの中  
核的な存在になるような地域づく  
りを進めていきたいと考えている。

### 公民館のコミュニティセンター 化を踏まえた地域づくりについ て

**問** 少年自然の家は、自然環境の中  
での集団生活を通じて心身ともに  
健全な少年の育成を図る上で大事な施設  
である。ここで得られる自然体験は、子  
どもにとつて何物にも代え難い体験、人  
生の糧になるものである。廃止ではなく、  
施設を壊して、半分に縮小して、新築に  
建て替えを提案するが見解を伺う。



松宮 学

(日本共産党  
敦賀市会  
議員団)

### 少年自然の家の今後について

**問** 少年自然の家の利用年数の50年  
まであと3年余りで、それまで施  
設の運営を続けられないか伺う。

**答** 躯体自体が劣化している上、屋  
上の防水やボイラー機器の修繕な  
どに毎年約1000万円近くの費用がか  
かっており、今後も費用は増加傾向にあ  
るため、令和8年度末での廃止を検討し  
ている。

**問** 少年自然の家は、自然環境の中  
での集団生活を通じて心身ともに  
健全な少年の育成を図る上で大事な施設  
である。ここで得られる自然体験は、子  
どもにとつて何物にも代え難い体験、人  
生の糧になるものである。廃止ではなく、  
施設を壊して、半分に縮小して、新築に  
建て替えを提案するが見解を伺う。

**答** 少子化と人口減少が進んでお  
り、今後も大幅な利用の増加も見  
込めない中、本市の財政状況を鑑みると  
新築運営は困難だと考える。

**問** 少年自然の家は、自然環境の中  
での集団生活を通じて心身ともに  
健全な少年の育成を図る上で大事な施設  
である。ここで得られる自然体験は、子  
どもにとつて何物にも代え難い体験、人  
生の糧になるものである。廃止ではなく、  
施設を壊して、半分に縮小して、新築に  
建て替えを提案するが見解を伺う。

**答** 少子化と人口減少が進んでお  
り、今後も大幅な利用の増加も見  
込めない中、本市の財政状況を鑑みると  
新築運営は困難だと考える。

### 議会だよりアンケートにご協力お願いします

今後の紙面構成の参考にさせていただきますので、以下のQRコードよりご協力をお願いいたします。



皆さんの  
ご意見を  
お聞かせください

# 議会日誌

令和7年6月24日以降の主な議会活動の紹介です

## 7月

- 1日(火) 議会運営委員会
- 16日(水) 議会運営委員会
- 23日(水) 広報広聴委員会
- 24日(木) 議員説明会、議会運営委員会

## 8月

- 18日(月) 議会運営委員会行政視察(～19日)
- 20日(水) 広報広聴委員会
- 25日(月) 議員説明会

## 9月

- 1日(月) 議会運営委員会
- 8日(月) 各派代表者会議、全員協議会、本会議(開会)
- 9日(火) 予算決算常任委員会全体会・分科会(補正予算)
- 12日(金) 敦賀高校「公共」授業講師参加
- 17日(水) 本会議(一般質問)
- 18日(木) 本会議(一般質問)
- 19日(金) 本会議(一般質問)
- 22日(月) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
- 24日(水) 原子力発電所特別委員会
- 25日(木) 新幹線開業後まちづくり特別委員会、広報広聴委員会
- 30日(火) 予算決算常任委員会全体会(決算基本質疑)

## 10月

- 1日(水) 予算決算常任委員会分科会(決算審査)、文教厚生常任委員会
- 6日(月) 予算決算常任委員会全体会(採決)
- 9日(木) 議会運営委員会、全員協議会、本会議(閉会)
- 14日(火) 文教厚生常任委員会行政視察(～15日)
- 17日(金) 敦賀高校「公共」授業講師参加、議員研修会
- 20日(月) 産経建設常任委員会行政視察(～21日)
- 22日(水) 総務民生常任委員会行政視察(～23日)
- 24日(金) 広報広聴委員会、市町議会議員合同研修会

## 11月

- 7日(金) 議会報告会(北公民館)
- 8日(土) 議会報告会(東浦公民館)
- 10日(月) 議会運営委員会
- 11日(火) 議会報告会(栗野公民館)
- 12日(水) 議会報告会(愛発公民館)
- 13日(木) 議会報告会(中郷公民館)
- 14日(金) 福井県市議会議長会議員研修会
- 15日(土) 議会報告会(松原公民館)
- 18日(火) 議会報告会(西公民館)、敦賀高校模擬請願審査
- 19日(水) 議会報告会(東郷公民館)、敦賀高校模擬請願審査
- 20日(木) 議会報告会(南公民館)、敦賀高校模擬請願審査

## 敦賀市議会ホームページにアクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

敦賀市議会 検索

電話：22-8157  
Eメール：gikai@ton21.ne.jp  
住所：敦賀市中央町2丁目1番1号  
発行所：敦賀市議会  
委員長 大石修平  
副委員長 中道恭子  
委員 河瀬太治  
委員 高城庄佑  
委員 山本武志  
委員 山本隆美  
委員 北条隆正  
委員 吉田美昭

編集委員

## 12月定例会の日程(予定)

11 November ▶ 12 December

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
16	17	18	19	20	21 告示日	22
23	24	25	26	27	28	29
30	12/1 本会議 (議案説明・質疑)	2 予算決算 常任委員会	3	4	5	6
7	8	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (一般質問)	12 常任委員会	13
14	15 特別委員会	16 特別委員会	17 予算決算 常任委員会	18	19	20
21	22 本会議 (報告・採決)	23	24	25	26	27